

研究課題

「高齢者悪性リンパ腫 R-CHOP 療法におけるペグフィルグラスチムの最適投与タイミングに関する検討」

1. 研究の意義と目的

ペグフィルグラスチムは、がん化学療法に伴う発熱性好中球減少症（以下、FN）発症抑制を目的とした予防投与が認められた製剤であり、2014 年 11 月に国内で承認されました。本剤は、65 歳以上の悪性リンパ腫 R-CHOP 療法において一次予防的投与が認められていますが、その投与タイミングに関する検討はなされていません。そこで今回、当院における使用状況を調査し、投与タイミングにより FN の発現頻度や好中球減少の程度に差が生じているのかを確認するため、本研究を行うこととしました。

① 対象期間

2014 年 11 月～2019 年 3 月末

の期間に R-CHOP 療法を施行し、ペグフィルグラスチムが投与された 65 歳以上の患者を対象とさせていただきます。

② 研究方法

白血球や好中球等の血液検査値の確認による有益性を調査します。

研究対象者となる方の診療録より抽出した情報を使用させていただきます。個人情報には削除した上で匿名化し、個人情報が漏出しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

2. 情報の保護・廃棄

本研究に使用する情報は東北医科薬科大学 若林病院薬剤部内で厳重に取り扱います。また、研究協力機関とデータの共有を行う可能性がありますが、その際は個人が特定できないかたちで取り扱います。なお、調査結果は個人を特定できない形で論文等にて発表させていただきます。研究終了後は、診療録以外の情報は速やかにシュレッダーで裁断し廃棄します。

不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

本研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

お問い合わせ先

〒984-8560

仙台市若林区大和町2-29-1

TEL: 022-236-5931

東北医科薬科大学 若林病院 薬剤部